

研修名	災害・事故時のこころのケア対策事業関係職員研修 「北九州市の防災体制と災害支援の心がまえ」
講師	○「北九州市の防災について」 北九州市危機管理室危機管理課より説明 ○「災害時の心理的支援～サイコロジカル・ファーストエイドについて～」 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 行動医学研究部 研究員 大沼 麻実 氏
開催日時	令和4年10月27日（木）14：45～16：45
開催方法	Webex Meetings を用いたオンライン研修
参加者数	21名（内訳：北九州市役所職員、医療機関・相談機関等の職員など）
研修の 内容等	<p>市職員や被災者の支援に携わる可能性がある医療機関・相談機関等の職員を対象に、北九州市の防災体制や防災に関する知識、また災害時のこころのケアについての知識・対応等を学び、相談支援技能を高めることを目的として研修を実施した。</p> <p>研修では、本市で起きた災害・起こりうる災害や北九州市の防災体制、サイコロジカル・ファーストエイドの基本的な考え方、活動原則などを学んだ。また、被災者のこころのケアだけでなく、支援者自身や同僚へのこころのケアについても学んだ。</p>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none">・実際に、対応するとき気を付けることやかわり方を具体的に学ぶことができ勉強になりました。また、災害現場だけでなく、日々かわる住民の方々への対応にも活かしていきたいと思いました。・難しい内容だと思って構えていたがとてもわかりやすく、頭に入ってきた。・前半では北九州市のこれまでと現状、今後の予測や対策など詳しく説明していただき、日頃からの心構えが大切ということ学びました。後半は、被害に直面された方への関わり方を丁寧に教えていただき、日々の相談支援業務にも役立つと思い、とても有意義に感じました。・悪い例と良い例の映像を見ることができ、違いがわかりやすかった。チャットで他の方の意見を見ながら考えるのも勉強になった。・大規模災害は頻回に起こるものでも事前に分かるものでもないため、常に心掛ける意味でもとても参考になりました。まずは、身近な家庭や職場で災害時のイメージを共有したいと思います。